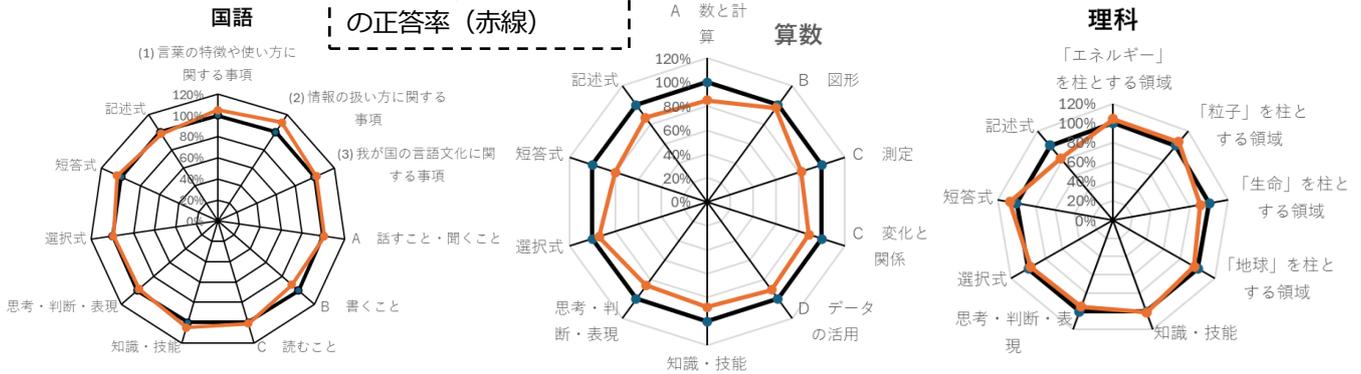


令和7年度 近文小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生を対象として実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

<各教科の調査>

全国平均を100とした場合の、近文小学校の正答率（赤線）



【傾向と課題解決に向けた取組】

国語・理科で全国平均を上回り、算数で下回りました。

国語では、「漢字」や「話し合いの記録の仕方について選択する問題」「自分の意図に応じた話し方を選択する問題」の正答率が高いことが分かりました。その一方で、「目的や意図に応じて、文章の構成を考えたり、書き表し方を工夫したりすること」について課題があることが分かりました。

理科では、「結果やまとめを基に、他の条件での結果を予想する」「実験の条件を制御した解決の方法を発想する」問題の正答率が高いことが分かりました。その一方で、「学習したことを根拠として、現象の理由を表現すること」に課題があることが分かりました。

算数では、「倍」や「割合」などの変化と関係を求める問題を苦手としていることが分かりました。また、分数のたし算など基本的な計算問題や数直線やはかりの数値の読み取りの正答率も低く、数に対する理解に課題があることも明らかになりました。

この調査結果を受けて、様々な教科で次のような学習活動を大切に指導していきます。

- ☆自分の考えを様々な条件に合わせて話したり、友達の考えを聞いたりしながら、自分の考えを再構成し、表現する学習
- ☆複数の情報を関連付けて考えたり、全体や部分など着目点を明らかにしたりして、新たな見方を獲得する学習
- ☆「どんなよさがあるのか」「なぜ、そうするのか」など学習対象の意味を問い、本質的な理解に迫る学習

<質問調査>

【肯定的な回答が多かった質問事項】

- 毎日、朝食を食べている。 ○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ○将来の夢や目標をもっている。
- ◎人が困っているときには、進んで助けている。 ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。 ○友達関係に満足している。
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ○普段の生活の中で幸せな気持ちになる。
- ◎友達と協力しながら課題解決に取り組んでいる。 ◎話し合い活動を通じて考えを深め、新たな考え方に気付くことができる。
- ICT 機器を活用してすぐ調べることができる。 ○ICT 機器の画像や動画、音声を活用することで、学習内容がよく分かる。
- ICT 機器を活用することによって、友達との考えを共有したり比べたりしやすくなる。

【全国との差が大きい質問事項】

△普段、1日当たりに勉強する時間。

【学習に関する質問事項】

- △国語が好き △算数が好き ◎理科が好き
- ◎国語の授業内容が分かる ○算数の授業内容が分かる ◎理科の授業内容が分かる

【傾向と課題解決に向けた取組】

調査結果から就寝時刻や毎朝の食事など規則正しい生活の意識をもっているとと言えます。また、友達とよい関係を築きながら将来の夢や目標をもち、困っている人がいれば助けることのできる道徳性を身に付けていることが分かります。

学習面では、国語や算数に比べ理科が「好き」で、自然や日常生活の中から理科に関する疑問をもち問題を見出すことのできる児童が多いようです。ただ、国語や算数でも授業内容は理解できている児童が多く、苦手でも努力を重ねていることが読み取れます。ICT機器に関しては、学習の習得に十分生かされていると言えます。

本校では、今後も良好な人間関係を大切にしながら意欲的に学習に取り組めるよう、家庭とも連携しながら授業改善を図っていきます。ご家庭では、望ましい生活習慣や時間の使い方について自ら意識できるよう、今後もご協力をお願いします。